

21 seiki kyouiku forum

弘前大学21世紀教育センター

第10号 2015

特別寄稿

- 1 学生の主体的な学修を促進するラーニングコモンズの環境整備と実践例 ―弘前大学附属図書館の場合― 郡千寿子

論文

- 11 1) 法科大学院の人材養成機能と就職支援 ―組織廃止を強要する政策提言への反論― 田中正弘
23 2) 医学科6年次学生に対する臨床実習終了時におけるPOS診療録記載演習の教育的意義
加藤博之, 松谷秀哉, 袴田健一, 小林 只, 大沢 弘
31 3) フィールドワークからホームライフへ ―美術専修学生を対象にした地域探索による初年次教育― 富田 晃
43 4) 臨床実習中の医学生を対象とした肺音聴診シミュレータを用いた診察実習
大沢 弘, 加藤博之, 小林 只, 松谷秀哉
49 5) 英語コミュニケーションのためのスキルアップ法 小野寺進
57 6) スポーツ実技「ヨガ」を開講して ―学生の受講動機と教育効果に関する考察― 高間木静香
65 7) 日本の大学におけるEFL科目の評価の改善 ―研究に基づいた外国語評価のモデル― フォーサイス・エドワード

書評

- 75 1) NHK取材班編著『産みたいのに産めない 卵子老化の衝撃』(文藝春秋, 2013年)
小玉正志
77 2) 増田四郎著『大学でいかに学ぶか』(講談社, 1966年)
黄 孝春
79 3) 大阪大学ショセキプロジェクト編
『ドーナツを穴だけ残して食べる方法 越境する学問―穴から覗く大学講義』(大阪大学出版会, 2014年)
仁平政人

講演会及び研究集会の記録

- 81 1) 平成25年度弘前大学高大連携シンポジウム
テーマ「キャリア教育における高大連携の模索 ―高校が考えるキャリア教育、大学が考えるキャリア教育―
(『21世紀教育センターニュース』より転載) 田中正弘

その他

- 83 1) 平成25年度後期21世紀教育に関する学生アンケート (『21世紀教育センターニュース』より転載)

刊行・投稿規定・執筆要項

目 次

特別寄稿

- 学生の主体的な学修を促進するラーニングコモンズの環境整備と実践例
—弘前大学附属図書館の場合— ……………郡 千寿子 1

論 文

- 1) 法科大学院の人材養成機能と就職支援
—組織廃止を強要する政策提言への反論— ……………田 中 正 弘 11
- 2) 医学科6年次学生に対する臨床実習終了時における
POS診療録記載演習の教育的意義
……………加 藤 博 之, 松 谷 秀 哉, 袴 田 健 一
小 林 只, 大 沢 弘 23
- 3) フィールドワークからホームライフへ
—美術専修学生を対象にした地域探索による初年次教育—
……………富 田 晃 31
- 4) 臨床実習中の医学生を対象とした肺音聴診シミュレータを用いた診察実習
……………大 沢 弘, 加 藤 博 之
小 林 只, 松 谷 秀 哉 43
- 5) 英語コミュニケーションのためのスキルアップ法
……………小野寺 進 49
- 6) スポーツ実技「ヨガ」を開講して
—学生の受講動機と教育効果に関する考察— ……………高間木 静 香 57
- 7) 日本の大学におけるEFL科目の評価の改善
—研究に基づいた外国語評価のモデル— ……………フォーサイス・エドワード 65

書 評

- 1) NHK取材班編著
『産みたいのに産めない 卵子老化の衝撃』（文藝春秋，2013年）
.....小 玉 正 志 75
- 2) 増田四郎著
『大学でいかに学ぶか』（講談社，1966年）
.....黄 孝 春 77
- 3) 大阪大学ショセキカプロジェクト編
『ドーナツを穴だけ残して食べる方法 越境する学問—穴から覗く大学講義』
(大阪大学出版会，2014年).....仁 平 政 人 79

講演会及び研究集会の記録

- 1) 平成25年度弘前大学高大連携シンポジウム
テーマ「キャリア教育における高大連携の模索
—高校が考えるキャリア教育、大学が考えるキャリア教育—」
(『21世紀教育センターニュース』より転載)田 中 正 弘 81

その他

- 1) 平成25年度後期21世紀教育に関する学生アンケート
(『21世紀教育センターニュース』より転載) 83

刊行・投稿規定・執筆要項..... 86

『21世紀教育フォーラム』刊行及び投稿規定

1. 本『フォーラム』は、高等教育に関する実践的・学術的研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として年1回、3月末とする。
3. 原稿の締切は概ね1月上旬とする。
4. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
5. 各論文の長さは図表等を含めて、400字詰め原稿用紙に換算して50枚以内とする。
6. 原稿の作成に際しては所定の執筆要項（別掲）に従うものとする。
7. 翻訳・書評・提言に関しては編集委員会で決める。
8. 校正は原則として著者が行い、3校までとする。
9. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
10. 本『フォーラム』に掲載される内容は、センターのホームページで公開される。

この規定は、平成17年11月から施行する。

この規定は、平成23年7月から施行する。

『21世紀教育フォーラム』執筆要項

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、パソコン等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。原稿は3部提出する（3部のうち2部はコピーでかまわない）。
なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記した記録媒体を添付することが望ましいが、電子ファイルでの提出も可とする。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。
3. 本文の前に要旨（Abstract）及びキーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文の場合には120語以内とする。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当箇所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また、単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入箇所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真を含む。白黒のみ）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することを避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるような明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては所定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

『21世紀教育フォーラム』編集委員会

編集委員長	田 中 正 弘 (21世紀教育センター高等教育研究開発室)
編 集 委 員	小 玉 正 志 (教育学部)
	黄 孝 春 (人文学部)
	仁 平 政 人 (教育学部)

編 集 後 記

『21世紀教育フォーラム』（第10号）を発刊することができました。紀要創刊10周年を記念する本号は、過去最多の8本の論文を掲載しています。内容も多彩で、人文、社会、医療などの分野に跨がっています。この多彩さは、総合大学である本学の教育改善活動が全学的に行われていることを、象徴しているともいえるでしょう。個々人の改善の試みが本号において文字化されることで、教職員間の情報共有がもたらされれば、全学における教育改善の歩みは加速度的に早まっていくと思われまふ。

本号が『21世紀教育フォーラム』の今後の10年の更なる発展を示すものとなったのであれば、存外の喜びです。

『21世紀教育フォーラム』 第10号

発 行	弘前大学21世紀教育センター
編 集	『21世紀教育フォーラム』編集委員会
	連絡先（編集委員長）〒036-8560 青森県弘前市文京町1
	21世紀教育センター高等教育研究開発室
	田中正弘
	電話：0172-39-3920
	E-Mail: masatana@cc.hirosaki-u.ac.jp
発行年月日	2015年3月31日
印刷・製本	やまと印刷株式会社

21

s
t

Century Education Forum

Vol. 10 2015

Center for 21st Century Education Hirosaki University

SPECIAL ISSUES

- 1 Learning commons promoting active learning – a case of Hirosaki University Library Chizuko KOHRI

ARTICLES

- 11 Career Support Services for Japanese Law Schools:
A Counterargument against Policies Forcing Institutional Abolishment Masahiro TANAKA
- 23 Educational Significance of Training for Problem Oriented Medical Record
after Clinical Clerkship for 6th Grade Medical Students.
Hiroyuki KATO, Hideya MATSUTANI, Kenichi HAKAMADA, Tadashi KOBAYASHI, Hiroshi OSAWA
- 31 From Field Work to Home Life: First Year Experience of Local Research for Students of Art Pedagogy
Akira TOMITA
- 43 Physical examination training using a lung-sound simulator for medical students during bedside learning
Hiroshi OSAWA, Hiroyuki KATO, Tadashi KOBAYASHI, Hideya MATSUTANI
- 49 Improving Skills for English Communication Susumu ONODERA
- 57 Yoga as a liberal arts education: Consideration of student's motivation and the educational effects
Shizuka TAKAMAGI
- 65 Improving Assessment in Japanese University EFL Classes:
A Model for Implementing Research-Based Language Assessment Practices Edward FORSYTHE

BOOKREVIEW

- 75 NHK Crew "Untold Stories Of Infertility" (Bungeishunju, 2013) (Masashi KODAMA)
- 77 Shiro Masuda, "How To Study At University" (Kodansha, 1966) (HUANG Xiaochun)
- 79 Osaka University Shosekika Project
"How to Eat a Doughnut without Eating the Hole, Cross-Border Scholarship
-- University Lectures Peeking through the Hole" (Osaka University Press, 2014) (Masato NIHEI)

CONFERENCE/FACULTY DEVELOPMENT MINUTES

- 81 Symposium about the Cooperation of High Schools and Hirosaki University
"Career Education from the Perspectives of High Schools and Universities"
(The 21st Century Education Centre News, Vol.23, March 2014) Masahiro TANAKA

OTHER TOPICS

- 83 The Results of the Student Questionnaire on 21st Century Education
(The 21st Century Education Centre News, Vol.23, March 2014)